

病院事業会計 予算説明資料

(病院管理局)

資 料 名	担当課	頁
病院事業の経営形態のあり方検討委員会について	経営管理課	1
新病院建設事業（令和8年度）について	病院再整備課	3

病院事業の経営形態のあり方検討委員会について

1 事業概要

小田原市病院事業は、平成28年度から令和6年度まで9期連続で純利益を計上し、一般会計負担金も基準額より低い繰入額を続けている中、累積欠損金もない状況で、健全経営を維持してきたが、新病院の建設費や人件費、物価高騰などの支出負担増に加え、新病院の減価償却費や企業債償還金の影響により、令和7年度以降、当面の間は赤字となる見込みである。

このような状況を踏まえ、引き続き、県西地域の基幹病院としての役割を果たすためには、経営健全化に向けた取り組みを進めていく必要があることから、事業管理者の諮問機関として「小田原市病院事業の経営形態のあり方検討委員会」を設置し、病院事業の経営形態のあり方に関して調査審議を行うものである。

2 経営形態に関する直近の経緯

本市では、総務省のガイドラインに基づき、令和6年3月に「小田原市立病院経営計画（経営強化プラン）」を策定し、その中で、経営形態については、「現行の地方公営企業法の全部適用によって達成される効果を検証し、求められる効果が達成されそうにない場合は、地方独立行政法人を含む適切な経営形態についてさらに検討を進める」こととしている。

また併せて、「第7次小田原市総合計画第1期実行計画」においても、同様の記載をしている。

3 委員会における主な検討事項（予定）

- (1) 経営形態を地方公営企業法の全部適用に移行した効果の検証
- (2) 市立総合医療センターのおかれた現状と課題の整理
- (3) 県西地域の実情に応じた各経営形態のメリット・デメリットの調査検討
- (4) 市立総合医療センターがあるべき経営形態の検証 など

4 委員構成

検討委員会の委員は、市内医療団体・連携医療機関・学識経験者・市内団体等から選出し、全体で15人程度を想定している。

5 今後のスケジュール

令和8年5月 第1回委員会を開催し、事業管理者から委員会に諮問
6月～11月 月1回程度で委員会を開催
12月 市長と事業管理者に、委員会から答申
答申を受けた後、市としての方向性を検討する。

6 予算額

2,011千円

内訳	(項) 医業費用 (目) 給与費 (節) 報酬	1,511千円
	(目) 経費 (節) 旅費交通費	500千円

新病院建設事業（令和8年度）について

1 新病院の建設に係る主な事業

単位：千円

No	事業名	事業内容	R8予算計上額	備考
収益的収支				
1	臨時駐車場用地賃借	約200台分	10,851	
2	患者送迎等業務	駐車場・病院間ワゴン車送迎	35,112	
3	車両誘導業務	駐車場等交通誘導員	50,094	
4	食器・調理用具等購入費	食器補充、調理用具更新	11,000	R7～R8債務負担
5	什器・備品等購入費		900,000	R7～R8債務負担
6	移転引越委託料		242,564	R7～R8債務負担
7	開院式典等委託料	パンフレット、PR動画作成等	13,000	R7～R8債務負担
8	残置物撤去廃棄委託料		55,000	R7～R8債務負担
	計		1,317,621	
資本的収支				
1	埋蔵文化財調査事業	遺物整理・報告書作成	22,300	R3～R8継続費
2	旧病院解体事業	[2期工事] RC造7階、約24,000㎡	2,000,000	R7～R9継続費
3	旧病院解体工事監理事業	[2期工事] RC造7階、約24,000㎡	34,000	R7～R9継続費
4	立体駐車場・外構実施設計事業	[2期工事] S造2層3段、約250台	48,000	R7～R8継続費
5	コンストラクションマネジメント事業	解体工事段階の技術的支援	4,917	
6	開院支援事業	医療機器、什器・備品、システム、移転等	7,000	R4～R8継続費
7	カフェ導入事業	厨房機器、内装、家具等	60,000	R6～R8債務負担
8	医療機器整備費	更新	300,000	
9	機械器具購入費	検体前処理搬送システム等	4,233,255	R7～R8債務負担
	計		6,709,472	

(注) 病院運営に係る賃借料や委託料等の定例的な事業は除いてあります。

下水道事業会計 予算説明資料

(上下水道局)

資 料 名	担当課	頁
公共下水道の普及状況等について	給排水業務課 下水道整備課	1
令和8年度下水道主要事業箇所図	下水道整備課	2

公共下水道の普及状況等について

1 整備状況

	令和6年度末 実績	令和7年度末 見込み	令和8年度末 見込み
全体計画面積 (A) (ha)	2,888.8	2,888.8	2,888.8
処理区域面積 (B) (ha)	2,570.5	2,573.0	2,575.5
整備率 (B/A)×100 (%)	89.0	89.1	89.2
人口普及率 (処理区域内人口/行政人口※1) (%)	83.9	84.0	84.1

※1 行政人口は令和7年(2025年)3月31日の住民基本台帳人口:186,007人

2 受益者負担金賦課状況

	令和7年度末 賦課済	令和8年度 賦課見込み	令和8年度末 賦課済見込み
賦課面積 (ha)	1,995.81	3.23	1,999.04

3 水洗化普及状況

	処理区	処理区域内戸数 (A) (戸)	下水道接続戸数 (B) (戸)	接続率 (B/A)×100(%)
令和6年度末実績	左岸処理区	70,219	67,114	95.6
	右岸処理区	18,663	16,926	90.7
	計	88,882	84,040	94.6
令和7年度末 見込み	左岸処理区	70,531	67,426	95.6
	右岸処理区	18,807	17,082	90.8
	計	89,338	84,508	94.6
令和8年度末 見込み	左岸処理区	70,893	67,801	95.6
	右岸処理区	18,903	17,177	90.9
	計	89,796	84,978	94.6

【資料】上下水道局

令和8年度下水道主要事業箇所図

【管路建設費】

污水管渠整備事業（国庫補助事業）

処理区	番号	工事名等	工事場所	工事内容
左岸	①	千代第五号污水幹線整備事業 (R6~R8継続事業)	矢作ほか地内	推進工法 φ400mm L=380m 開削 φ200mm L=130m
右岸	②	市道3092ほか	栢山地内	推進工法 φ200mm L=10m
左岸	③	市道5186ほか	小竹地内	開削 φ200mm L=110m φ75mm L=120m
右岸	④	県道720号	曾比ほか地内	開削 φ200mm L=90m

污水管渠整備事業（市単独事業）

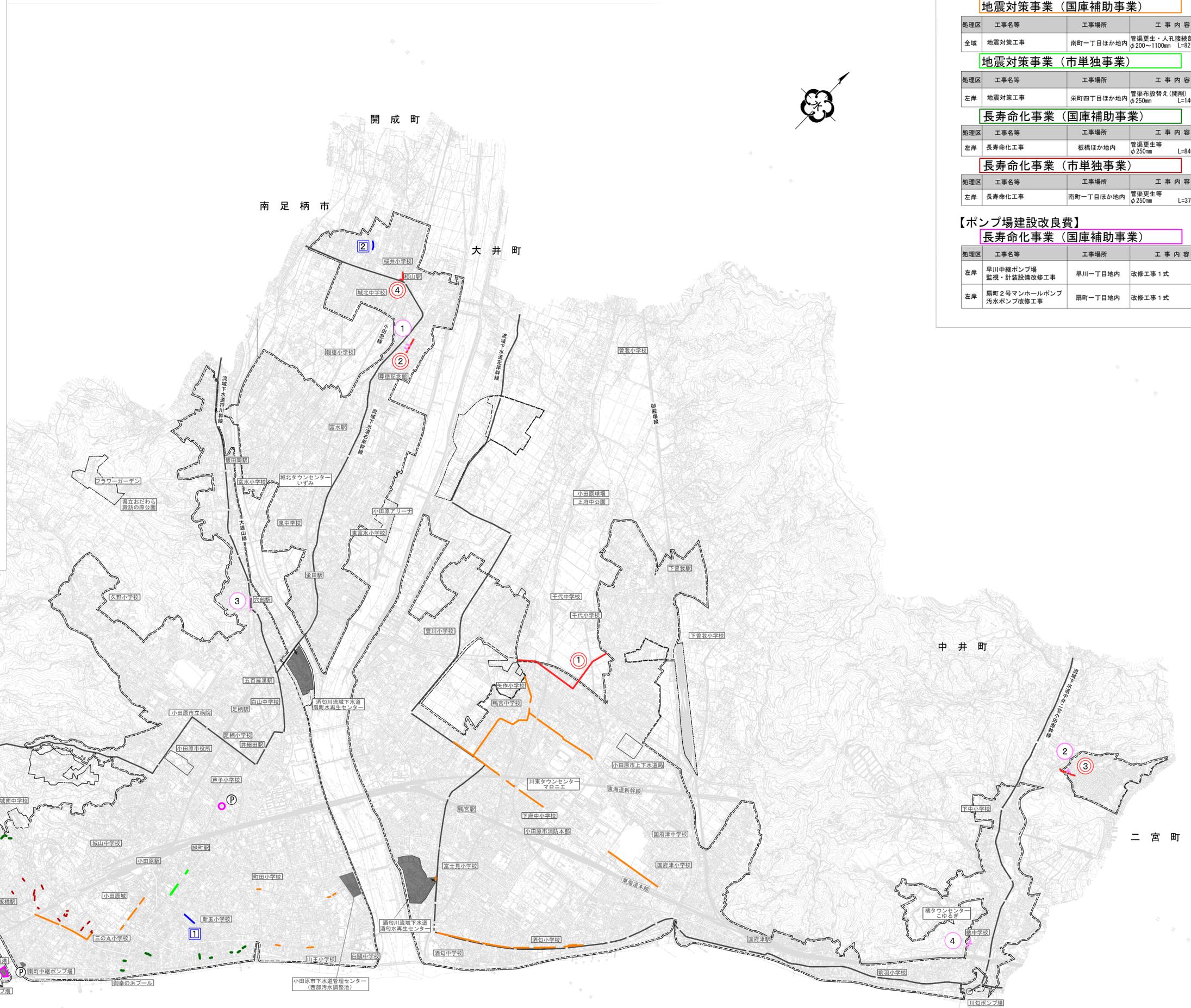
処理区	番号	工事名等	工事場所	工事内容
右岸	①	市道3092ほか	栢山地内	開削 φ200mm L=40m 推進工法 φ200mm L=20m
左岸	②	市道5186ほか	小竹地内	開削 φ200mm L=70m
左岸	③	県道74号	穴部地内	開削 φ200mm L=140m
左岸	④	市道0074ほか	羽根尾地内	開削 φ200mm L=120m

【管路建設費】

雨水渠整備事業（国庫補助事業）

処理区	番号	工事名等	工事場所	工事内容
左岸	①	大下水第一雨水幹線整備事業 (R8~R9継続事業)	栄町四丁目ほか地内	開削 コンクリート水路 L=30m
右岸	②	寺下第一雨水幹線	曾比地内	開削 コンクリート水路 L=80m

記号	凡例
-----	市街化区域界
-----	下水道全体計画区域界
-----	流域下水道幹線
Ⓟ	污水中継ポンプ場



【管路改良費】

地震対策事業（国庫補助事業）

処理区	工事名等	工事場所	工事内容
全域	地震対策工事	南町一丁目ほか地内	管渠更生・人孔接続部耐震化 φ200~1100mm L=8210m

地震対策事業（市単独事業）

処理区	工事名等	工事場所	工事内容
左岸	地震対策工事	栄町四丁目ほか地内	管渠布設替え(開削) φ250mm L=140m

長寿命化事業（国庫補助事業）

処理区	工事名等	工事場所	工事内容
左岸	長寿命化工事	板橋ほか地内	管渠更生等 φ250mm L=840m

長寿命化事業（市単独事業）

処理区	工事名等	工事場所	工事内容
左岸	長寿命化工事	南町一丁目ほか地内	管渠更生等 φ250mm L=370m

【ポンプ場建設改良費】

長寿命化事業（国庫補助事業）

処理区	工事名等	工事場所	工事内容
左岸	早川中継ポンプ場 監視・計装設備改修工事	早川一丁目地内	改修工事1式
左岸	扇町2号マンホールポンプ 污水ポンプ改修工事	扇町一丁目地内	改修工事1式